

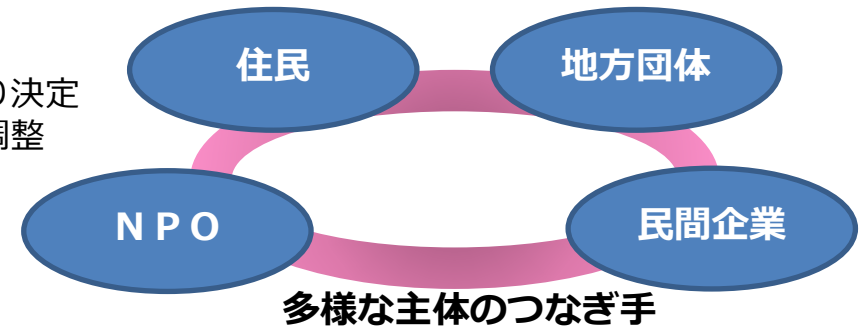
## 概要

- 地域活性化においては、様々な知識・経験を持つ人材が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれの地域で活動に取り組み、活動が展開されることが重要。
- その際、地域の活動を行う者や団体がバラバラに活動するのでは地域力は最大化されず、これらが連携して、情報の共有化、住民同士の顔の見える関係を構築する必要がある。
- このためには、地域内の連携の核となり、地域の住民や自治会、NPO、民間企業、地方公共団体など多様な主体をつなぎ、地域の潜在力を引き出す「地域コーディネーター」の役割が重要。

⇒ **地域内外のつなぎ手となる「地域コーディネーター」の育成に重点をおいた実証研究事業を実施**  
**具体的には、地域の現場（フィールドワーク先）において、コーディネートの経験の豊富な者から、コーディネートの考え方、その技術を学ぶ講座を実施するとともに、地域コーディネーター育成の基本的考え方や育成上の留意点等を整理し、全国の参考となるようなプログラムの構築を目指す。**

## 事業実施団体

- 研修事業の実施実績及び人材育成の調査研究実績のある者から公募により決定  
・事業実施団体は、カリキュラムの作成（フィールドワーク先の選定・調整を含む。）、受講者の募集、講座の実施、講師への謝金・旅費等の支払い等のほか、最終報告会の開催、報告書の作成を行う。



## 講座内容

- (1)対象者  
地方公共団体職員、NPO関係者等で地域のコーディネーターとしての役割を果たしたいと考えている者等。
- (2)開催期間等  
平成26年9月から平成27年2月までの間に、全国の1～4地域程度で1～2回程度実施（合計4回程度）、受講者は1回あたり10名程度。

**地域コーディネーター**

